

事業所名

総合支援センターわかば

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

12 月

10 日

法人（事業所）理念		ひとり、一人が主人公	
支援方針		支援を必要とするすべての子どもに福祉サービスが受けられるように努める。 本人および、ご家族の生活向上に資するように努める。	
営業時間		15 時 0 分から 18 時 0 分まで (休校日は、9:00 から 17:00 まで)	送迎実施の有無 ○あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体を動かし、同年代の利用者と6～10人程度のグループでできる日は外出して、雨天等難しい日は室内で遊具などを使って楽しく遊ぶ活動を行っている。 ○ 長期休み（夏休み等）は、生活リズムを維持できるよう、一日活動日を実施して学校がある時期と生活のリズムが大きく崩れないよう支援している。 ○ 食事・排泄・衣服の着脱など、基本的な生活スキルが身につくように学校や家庭と連携しながらSST（ソーシャルスキルトレーニング）を無理のないように実施している、 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部専門講師（太陽スポーツクラブ）による運動指導を年数回実施している。 ○ 外部専門講師（ドルチェミュージック）によるリトミック指導を年数回実施している。 ○ 屋外活動（公園の遊具をつかった活動）で体を使った遊びを体験している。 ○ 感覚遊びやボール遊びを通して様々な感覚になれるよう支援を行っている。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日々の活動を構造化し、自分が登園してから帰宅するまでの流れを理解し、大きな環境の変化で混乱しないよう配慮している。 ○ 日課やグループをある程度固定化し定着できるように配慮している。変化がある場合は、事前に説明するなどの配慮を行っている。 ○ 必要に応じて自分の靴箱やボックスがわかりやすいよう写真や絵で理解できるよう視覚支援を行っている。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者・本人にご希望があり、ニーズがある場合は、WISCIV・MSPAといったスクリーニングを行い、現在の語彙やコミュニケーション能力についてより詳細に把握することや、どのような支援を要するかについて助言を行う。 ○ 日常の数名のグループ活動の中で、他の児童とのコミュニケーションの経験と語彙を獲得できるよう支援を行っている。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数人のグループでの日常的な活動中で、自分の気持ちの理解・相手の気持ちの理解・自分の行動で相手がどのような気持ちになるのか等、個々の成長の段階に応じて支援・ことばかけを行っている。 ○ 人間関係社会性の能力や特性は個人差が大きいですが、こどもの今の状態から少しずつ活動を通して社会性・協調性などを伸ばしていけるよう支援を行っている。 	
家族支援		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進学や転校で必要な場合は移行シートを作成し支援している。 ○ 移行に際し必要な場合はWISCやMSPAを実施し進路選択の参考にして頂いている。
地域支援・地域連携		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の年間研修計画に基づいて研修を実施している。 ○ 自己研鑽のための研修参加を奨励している。 ○ 長崎大学子どもの心の医療・教育センターおよび、ワーキングメモリ教育推進協会の研修を受講している。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ○ お弁当の日：定期的にお弁当の日を設け、終日遠方まで出かける等のレクリエーションを実施している。 ○ その他、クリスマス会・ハロウィン・夏祭り等季節の行事を活動に取り入れている。 ○ 年度のはじめに「保護者と語る会」を実施し、活動の様子の紹介・職員紹介など保護者と意見交換する機会を設けている。 	